

厚生年金加入者・受給者はどのような年金改革であれば受け入れられるのか？

北村 智紀¹ 中嶋 邦夫²

2012/04/23

要旨

本稿は選択型実験法を利用し、厚生年金の加入者と受給者を対象として、どのような年金改革であれば受け入れることができるか実験した。その結果、支給開始年齢を引き上げる改革案が最も選好されていなかった。また、株式投資を増やすことなどによる積立金の運用リスクを高める改革案が選好される傾向があった。加入者と受給者の違いに着目すると、消費税を引き上げることに关しては、加入者は引き上げる改革案を選好しない傾向があったが、受給者に関しては、消費税の引き上げは年金改革案に対する選好に影響がなかった。つまり、受給者は年金改革で5%程度の消費税を引き上げることについては承知しているものと考えられる。一方、加入者については消費税と保険料の上限引き上げについては、同程度の選好であった。

キーワード：厚生年金改革，加入者・受給者の選好，消費税率引き上げ，支給開始年齢，選択型実験法

JEL Code: D14, G02, H31

¹ ニッセイ基礎研究所 金融研究部門 年金総合リサーチセンター，東京都千代田区九段北 4-1-7
E-mail: kitamura@nli-research.co.jp

² ニッセイ基礎研究所 保険研究部門 年金総合リサーチセンター，東京都千代田区九段北 4-1-7
E-mail: nakasima@nli-research.co.jp